

カリフォルニア大学デービス校 「English for Science and Technology」募集要項

募集概要：

カリフォルニア州デービス（米国）にあるカリフォルニア大学デービス校における、理工系分野の英語を習得するための4週間の海外英語研修プログラムです。通常の英語の授業のほか、異文化リサーチプロジェクト、近郊の企業訪問等を行います。プログラム情報は下記のウェブサイトを確認してください。

(<https://cie.ucdavis.edu/english-programs/english-science-and-technology-4-weeks>)

本プログラムに参加して学修を行い、所定の手続きを取ると、単位が付与されます（注参照）。

【派遣先】 米国・カリフォルニア大学デービス校

【プログラム期間】 2017年2月10日（金）～3月10日（金）（4週間）

*フライトは各自で手配していただきます。渡航期間は上記より長くなりますので、試験等の日程を考慮の上、応募してください。

【費用】 約25万円（授業料、学生サービス料）

*上記の授業料、学生サービス料は、参加者が各自でカリフォルニア大学デービス校のホームページよりクレジットカードで支払います。為替レートにより、円建ての支払額は変わります。

*航空運賃、VISA取得費用、現地での諸経費（交通費等）、パスポート取得費等は上記の費用には含まれません。

*宿舎（ホームステイの予定）はまとめて手配しますが、上記費用には含まれていません。

*大学の指定する海外旅行保険に加入してください。

【応募資格】

1. 東工大正規課程生。国籍・性別・所属は不問。
2. プログラム参加にあたり、特別な支援を必要とする者は応募前に相談のこと。

【応募方法】 添付の申請書（“Spring 2017 Short-term Study Abroad Program Application Form”）を国際連携課総務グループ宛てに提出して下さい。

【募集人数】 15名

【選考方法】 書類審査

【応募締切】 2016年11月24日（木） 17:00

*応募に際して、申請書類に類主任または学科長の承認を必ず得て下さい。

【単位付与について】

別添資料を熟読のうえ、遅滞なく単位認定手続きを行ってください。なお、学部4年生と修了学年の院生は、卒業までに単位認定ができないため、単位を取得することができません。

1. 学部1年生および2年生の参加については、「英語スピーキング演習第三」および「英語スピーキング演習第四」等の単位が付与されます（2単位）が、グローバル理工人コースの実践型海外派遣プログラムの修了要件とはならないため、3・4年次に別の実践型海外派遣プログラムを履修してください。

2. 学部3年生の参加については、「実践型科学技術英語海外研修」の単位が付与されます（2単位）。なお、すでに実践型科学技術英語海外研修の単位を取得済みの場合、英語スピーキング演習等の単位が付与されます。

3. 大学院生は所定の手続きを経て、「英語スピーキング演習第十五、第十六」等の英語の選択科目の単位（2単位）が認定されます。

【奨学金支援】

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（日本人学生）、東京工業大学基金（留学生）対象です。以下の基準を満たした学生には8万円が支給される場合があります。（別途書類の提出が必要です。必要書類については、選考後の全体オリエンテーションにて説明されます。）*学内規定により国費留学生には奨学金の支給はありません。

奨学金支給基準：

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者(独立行政法人日本学生支援機構（JASSO））
国費以外の留学生（東京工業大学基金）
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上（JASSO規定の計算式に基づく）であること ➡ 学業成績書で確認する。

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出（小数点第3位を四捨五入）

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

（計算式）

（「評価ポイント3の単位数」×3）+（「評価ポイント2の単位数」×2）+（「評価ポイント1の単位数」×1）+（「評価ポイント0の単位数」×0） / 総登録単位数

3. 前年度の成績評価係数が2.0以上～2.3未満（JASSO規定の計算式に基づく）の場合、自己推薦書を提出することで、支給が認められる場合があります。
4. 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者
（原則として家計基準に合致する者） ➡ 申立書を根拠とする。
5. 派遣プログラム参加にあたり、他団体から奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給金額を超えない者

※学部4年生、修了学年の院生は単位が取得できないため、本奨学金の支給対象とはなりません。

（注）

1. 国費留学生は国費奨学金を受け取るための毎月の手続を行う日が限られます。申込み前に下記問い合わせ先に相談してください。
2. 留学生の参加については、渡航先のビザ取得期間等を確認の上、応募の可否を自身で判断してください。

【プログラムの内容の問い合わせ、申請書提出先】

国際部国際連携課総務グループ

大岡山南6号館4階405号室 留学情報館

電話：03-5734-3433（担当：高橋・一ノ瀬） e-mail: intl.sgu@jim.titech.ac.jp

カリフォルニア大学デービス校プログラム修了に伴う単位認定について

- (1) カリフォルニア大学デービス校プログラム修了に伴う単位認定について、学生は研修出発前に認定希望について留学情報館に申し出て、必要事項を確認する。
- (2) 留学終了後、速やかに単位認定の手続きを行うこと。学生は教務課で認定に必要な申請用紙(下記e)を受け取り、必要事項を記入の上、下記の必要書類一式を整え、手続きを行う。
- 修了証書
 - 成績証明書
 - 報告書(現地での研修内容、育成された能力、所感等を含めたもの。書式自由)
 - 必要な申請書と手続き

[大学院]

- 帰国後、教務課で履修単位認定表(専攻での審査に使用)と授業科目単位認定表(リベラルアーツ研究教育院での審査に使用)の書類を受領。
- 授業科目単位認定表に記入。留学大学で修得した授業科目の欄には「English for Science and Technology」と記入し、単位数や成績は書かなくてよい。認定授業科目のところには、Oral Expression in English 15, Oral Expression in English 16, Academic Presentation in English 15, Academic Presentation in English 16の中から未修得のものを2科目記入。単位数はそれぞれ「1」。日付は書かない。
- 記入済みの書類を留学情報館宛て提出。
- 英語科目実施委員会およびリベラルアーツ研究教育院の会議で承認後、押印済みの書類を返却。
- 履修単位認定表に記入し、所属の専攻の3名の教員から印鑑をもらい、所属専攻の専攻教員会議で承認の後、専攻長の印鑑をもらう。
- 授業科目単位認定表、履修単位認定表、成績証明書を教務課に提出。教授会で承認後、認定された単位が登録される。

[学部]

1、2年生

- 帰国後、教務課で「留学中の学修の成果による単位認定申請書」を受領する。日付は書かない。所属学科(類)、学籍番号、氏名を記入。捺印。
- 1年生
「認定を受けようとする授業科目等」の「区分」は「英語」、「科目名」は、Oral Expression in English 3, Oral Expression in English 4, English Presentation Seminar 3, English Presentation Seminar 4の中から未修得のものを2科目、「単位」はそれぞれ「1」を記入。
 - 2年生
「認定を受けようとする授業科目等」の「区分」は「英語」、「科目名」は、Oral Expression in English 3, Oral Expression in English 4, Oral Expression in English 7, Oral Expression in English 8, English Presentation Seminar 3, English Presentation Seminar 4, English Presentation Seminar 7, English Presentation Seminar 8の中から未修得のものを2科目、「単位」はそれぞれ「1」を記入。
 - 3年生
「認定を受けようとする授業科目等」の「区分」は「英語」、「科目名」は「実践型科学技術英語海外研修」、「単位」は「2」と記入。
「受講した授業科目名」は「English for Science and Technology」と記入。「単位」は空欄。「____大学の成績証明書 添付」の欄には「カリフォルニア大学デービス校」、「左記大学の留学期間」は「2017年2月10日~3月10日」と記入。
- 記入済みの書類を留学情報館宛て提出。
- 英語科目実施委員会およびリベラルアーツ研究教育院カリキュラム委員会で承認後、押印済みの書類を返却。会議終了後にメールで連絡をする。
- 書類を教務課学務グループまたは学務課教務グループに提出。教授会で承認後、単位が認定される。